

# ブルーノ・タウト没後80年

## ドイツで記念行事

お茶の水  
女子大

### 田中辰明名誉教授が寄稿



田中辰明氏

れ、昨年12月14日に訪問した。

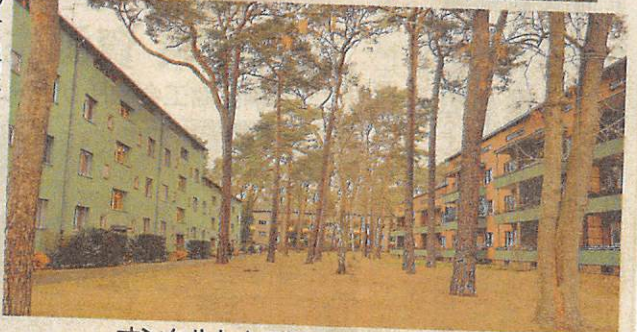
日本の文化を世界に紹介した建築家、ブルーノ・タウトは1938年12月24日にイスタンブールで死去した。昨年は没後80年に当たり、これを記念してドイツでは展示会をはじめ、さまざまな行事が行われた。

会場にはタウトが愛した少林山達磨寺の洗心亭の生活、そこで描いた水彩画など多くの資料が展示された。また高崎での生活や、日本で唯一タウトが設計した「旧日向別邸」(静岡県熱海市、国重要文化財)の姿をまとめた映像も上映され来場者に感動を与えた。

### 世界遺産に登録

会場にはタウトの孫、クリスチーネ・シリィさん(ドイツ元内務大臣オットー・シリィ氏の元妻)とひ孫のジュニーさんも来訪。ジュニーさん

ブリッツの馬蹄形住宅



オンケルトムズヒュッテの集合住宅

# 高崎での生活紹介

はこの展示会のお手伝いをした関係で招か

は有名な女優で、2010年には「犯罪地―ヒッチコックとヴェルニッケ―」で主演を務めている。タウトは1880年、東プロシヤのケーニクスベルク(現ロシア領カリニングラード)で生を受け、マクテブルグの役人として建設に尽力した。当時「アルプス建築」という表現主義の画集を発表し、ドイツ表現主義の旗頭となった。

### 桂離宮を称賛

この四つのジードルンクは田園都市ファルケンベルク(1913)、16年)、シラー公園の住宅団地(24、30年)、ブリッツの大規模住宅団地(馬蹄形住宅団地、25、30年)、カール・レギエンの住宅都市(28、30年)である。世界文化遺産に登録されていないが、森のジードルンクオンケ

文化機関(ユネスコ)の世界文化遺産に登録されている。

ルトムズヒュッテも樹木や自然を住宅団地に取り入れ、評価の高い作品である。ここにタウトの顕彰碑がある。

芸術アカデミーから教授の聲がかかり、トルコへ移住した。アタチュルク大統領の信認を得て多くの建築設計を手掛けた

が、激務のために病を得、38年にイスタンブールで客死



タウト旧宅 2008年12月撮影

1920年代、ベルリンに労働者の健康を考えた集合住宅1万2千戸を

しかし、モスクワで活動したことを理由に、台頭してきたナチスからいじめられ、33年に亡命のようなかたちで憧れていた日本へやって来た。日本では思っような建築活動を行えず「建築家の休日」と自嘲したが、洗心亭にこもって日本文化を紹介する著作活動に専念した。中でも桂離宮や伊勢神宮を称賛した「日本美の再発見」は有名である。

内部装飾に原色 36年にイスタンブール

は目の出が遅く、夕暮れも早い北ドイツには似合った配色である。